本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

P

Wrist Audio Player

2002

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本誌に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。

なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

本機のお取り扱いで、万一、誤ったキー操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

本書は時計本体の使い方について説明しております。
MP3 データのダウンロードのしかたは、付属の CD-ROM に収録されている説明をご覧ください。
なお、CD 等から MP3 データへの変換は、市販の変換ソフトをご使用ください。

MP3 について

MP3 は MPEG Audio Layer 3 の略で、音質を保ったまま容量を小さくできる、オーディオデータ圧縮規格です。

著作権について

MP3 はオリジナルの音質を保ったまま複製することができますので、他人の著作物を複製するには注意が必要です。
もちろん、本人が楽しむために複製するのなら問題ありませんが、それ以外の目的で無断に複製したり、配布したりすると著作権法によって罰せられます。
万一、本機が著作権法上の違法行為に使用された場合、一切その責任を負えません。

VCCI について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制評議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例


△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。（左の例は感電注意）


⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。（左の例は分解禁止）


●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠危険

ACアダプター・インターフェイスについて

ACアダプター・インターフェイスは本機専用のものをお使いください。他の機器を使用しますと、充電式電池が液漏れ、発熱、破裂し、火災やケガの原因となります。

ACアダプターは必ずAC100Vをご使用ください。

⚠警告

ACアダプター・インターフェイスについて

ACアダプター・インターフェイスをご使用中に煙が出たり、変なにおいがしたり、著しい発熱がするなどの異常が発生した場合は、すぐにACアダプターをコンセントから抜き、お買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。

水や異物が内部に入ったり、濡れたりしないようにしてください。万一、水などが入った場合は、すぐに電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いてお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにご相談ください。

通電中のACアダプターやインターフェイス、通電中の時計本体に長時間触れないでください。長時間触れたままになっていると、低温やけどの原因になります。

⚠警告

ACアダプター・インターフェイスについて

ACアダプター・インターフェイスは、次のことをお守りください。火災やケガの原因となります。

- 暖房器具のそばなど、高温の場所で使用したり放置しないでください。
- 風呂場や加湿器のそばなど、水や湿気のかかる場所で使用したり放置しないでください。
- 濡れた手で操作しないでください。
- 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
- 分解や改造をしないでください。
- 端子を針金などの金属類でショートさせないでください。
- 落としたり、衝撃を与えないでください。
- 雷が鳴りましたら、安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。
- ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプター本体を持って抜いてください。
- 本体やACアダプター、インターフェイスを布団などでおおった状態で使用しないでください。
- お子さまの手の届くところに放置しないでください。
- 長時間の旅行や外出のときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

⚠警告

音量について

大音量で長時間聞きますと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特に、聞き始めに突然大きな音が鳴らないようにご注意ください。

ご使用にあたって

自動車、オートバイなどの運転をしながらイヤホンを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。

電池の取り扱いについて

本機で使用している充電式電池の取り外しは絶対に行なわないでください。充電式電池の交換はお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。

防水性について

本機をスキューバダイビング(アクアラング)に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。
誤って使用すると、事故の原因となります。



⚠注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ･サビ･汗等
③体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれをふせぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

データ控えを作ってください

大切なデータは別のメディア(ハードディスク､MOディスク等)に必ず控えを残しておいてください。
本機の故障、修理等により、記憶内容が消えることがあります。

⚠注意

ご使用にあたって

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

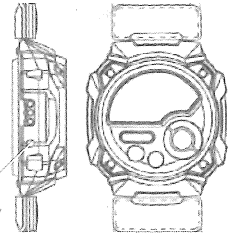
分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

お使いになる前に

リセットボタンについて

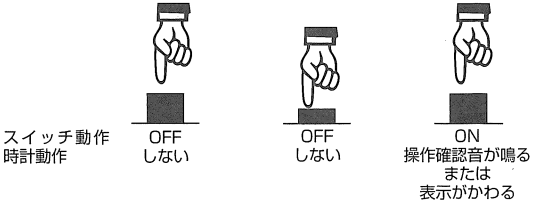
正常に動作しないときや表示が出ないときは、リセットボタンを先の細い棒などで押してください。
※リセットボタンを押すと、時刻・ストップウオッチ・アラームはリセットされます。
※最初にお使いになる前に、充電が完了しても表示が出ない場合は、リセットボタンを押してください。



操作ボタンの押し方

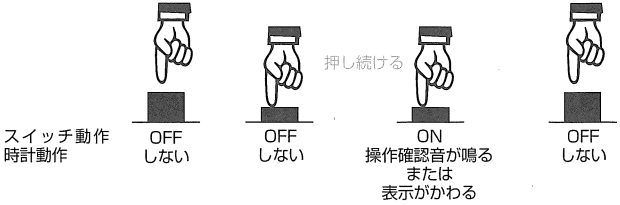
ワンプッシュ（*指を離したときに、ボタン操作が有効になる*）

指先でボタンを押し、すぐに離します。
※説明中で、「押す」と記載されているもの。



ホールド（*ボタンを押し続けることにより、ボタン操作が有効になる*）

目的の機能が働くまで、指先でボタンを押し続けます。
※説明中で、「押し続ける」と記載されているもの。



目次

安全上のご注意 …… 1

お使いになる前に …… 7

操作のしくみ …… 10

付属品について …… 12

ステレオイヤホンの接続 …… 13

充電について …… 14

パソコンとの接続 …… 16

プレイヤー機能の使い方 …… 18
- 基本的な操作 …… 18
- いろいろな再生のしかた …… 20
- 音質設定 …… 23

アラーム・時報の使い方 …… 24
- アラーム時刻のセット …… 24
- アラーム・時報のオン／オフ …… 26

ストップウオッチの使い方 …… 27
- 計測のしかた …… 27

時刻・カレンダーの合わせ方 …… 28
- 秒の合わせ方 …… 28
- 時刻・カレンダーの合わせ方 …… 29

製品仕様 …… 31

こんなときには …… 32

ご使用上の注意 …… 34

お手入れについて …… 35

操作のしくみ

時刻モード

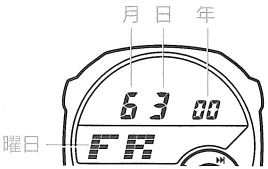


●ライト点灯

プレイヤーモード以外で⏭ボタンを押すとライトが点灯します。

●表示切り替え

⏮ボタンを押している間、カレンダーを表示します。



MODE

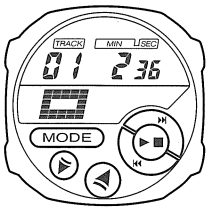
MODE (押し続ける)

プレイヤーモード

時刻モード／アラームモード／ストップウオッチモードのいずれかのモードでMODEボタンを押し続けると、MP3のプレイヤーモードに切り替わります。

※▶■ボタンを押し続けると、プレイヤーモードに切り替わった後、再生がスタートします。

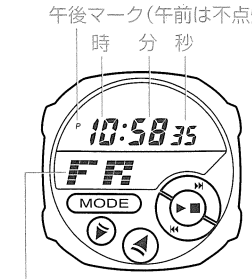
P-19



●時計機能のモード切り替え

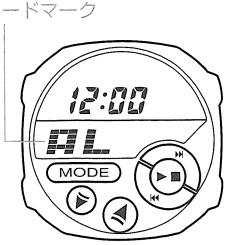
各モードで何もボタン操作をしないと、約１分後時刻モードに戻ります。
各モードで操作後MODEボタンを押すと、直接時刻モードに戻ります。

時刻モード



MODE

アラームモード



アラーム・時報のオン／オフができます。

P-24

MODE

時刻セットモード

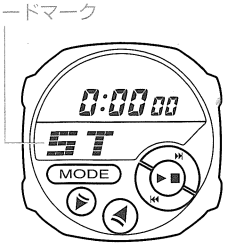


時刻・カレンダーのセットができます。

P-29

MODE

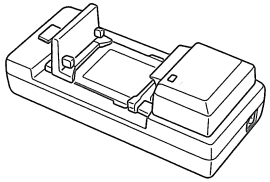
ストップウオッチモード



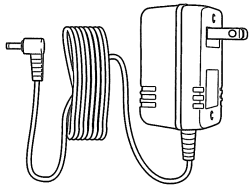
1/10秒単位で23時間59分59秒９まで計測できます。

P-27

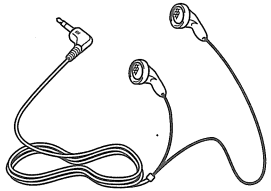
付属品について



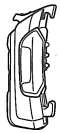
インターフェイス
（充電機能付）



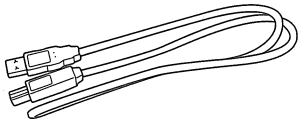
ACアダプター



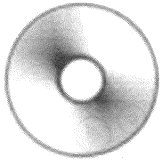
ステレオイヤホン



イヤホンアタッチメント



USBケーブル

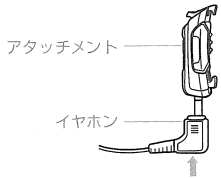


CD-ROM
（リンクソフト）

ステレオイヤホンの接続

●付け方

アタッチメントに、イヤホンのプラグを差し込みます。



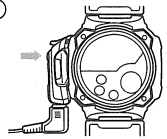
アタッチメント下側のツメを時計の下溝に引っかけてから、上側のツメを時計に押し込みます。

※カチッと音がするまで差し込みます。

①



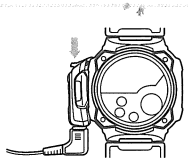
②



※アタッチメントのツメがリセットボタンにあたらないようにご注意ください。

●はずし方

アタッチメント上側のリリースボタンを押します。



⚠ご注意

アタッチメントを付けたままですと、防水機能が働きません。
アタッチメントが付いているときは、水濡れにご注意ください。
なお、音楽を聴かないときは、なるべくアタッチメントをはずしてください。

充電のしかた

電池持続時間は、フル充電時に音楽再生の連続使用で約４時間。時刻表示のみで約２カ月です。
低温時や電池が消耗してくると、バッテリー切れ予告（BATT）が点滅し、音楽再生はできません。
（時刻表示は約４日間使用できます）
なお、充電時間はフル充電で４時間です。



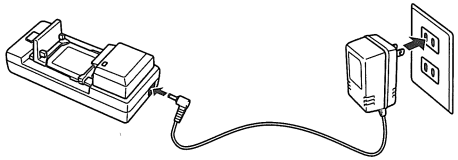
BATTマーク

■充電のしかた

1. イヤホンアタッチメントをはずします。

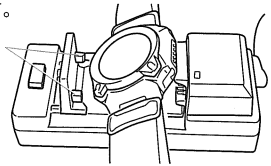


2. ACアダプターをインターフェイスと家庭用コンセント（AC100V）に差し込みます。



3. インターフェイスのトレイに時計の左側を入れます。

※２本のツメが時計の溝に入るようにします。

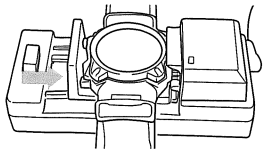


⚠ご注意

- 充電は本機専用のインターフェイスとACアダプターをご使用ください。
- 充電端子が汚れていると充電できないことがあります。汚れている場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- 充電端子は、絶対にショートさせないでください。
- 充電はできるだけ常温（23℃前後）で行なってください。
- 充電中は、振動を与えないでください。接触不良により充電できないことがあります。

4. 時計全体をトレイに載せ、トレイを矢印方向にスライドさせます。

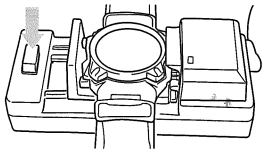
※カチッと音がするまでスライドさせます。
※セットされると充電中の赤ランプが点灯します。充電が終わると赤ランプは消えます。



〔はずし方〕

ロックボタンを押します。

※トレイがスライドして、時計が取りはずせます。



充電式電池は消耗品です。持続時間は、充電状態や充電式電池の劣化、周辺の温度などによりかわります。持続時間が著しく短くなった場合は、新しい充電式電池に交換してください。
※充電式電池の交換は販売店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにご相談ください。

パソコンとの接続

●インターフェイス⇔パソコン

インターフェイスとパソコンを付属のUSBケーブルで接続します。

※充電しないときは、ACアダプターを接続しなくてかまいません。

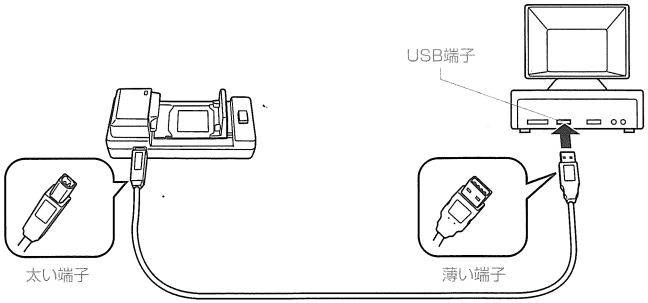
※USBコネクターは確実に差し込んでください。正しく接続されていませんと、正常に動作しないことがあります。

※1台のパソコンに2台以上のUSBケーブルをご使用の場合は、正常に動作しないことがあります。

※USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合は、正常に動作しないことがあります。必ず、付属の専用ケーブルのみで接続してください。

※同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。

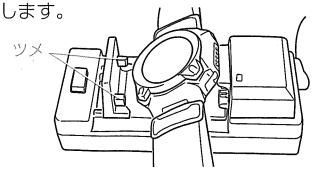
※パソコンとの接続はできるだけ常温（23℃）で行なってください。



●インターフェイス⇔時計

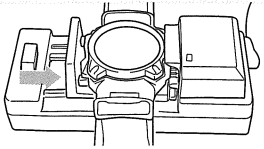
1. インターフェイスのトレイに時計の左側（9時側）を入れます。

※2本のツメが時計の溝に入るようにします。



2. 時計全体をトレイに載せ、トレイを矢印方向にスライドさせます。

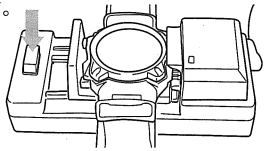
※カチッと音がするまでスライドさせます。



〔はずし方〕

ロックボタンを押します。

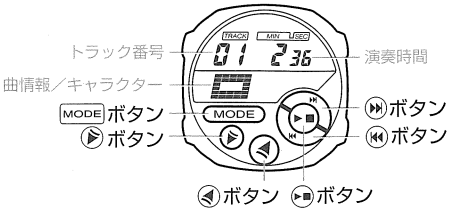
※トレイがスライドして、時計が取りはずせます。



プレイヤー機能の使い方

プレイヤー機能はパソコンからダウンロードした（読み込んだ）、MP3データを再生する機能です。
※CD等からMP3データへの変換は、市販の変換ソフトをご利用ください。
メモリーできる容量は32MBで、録音時間は高音質モード（128Kbps）で約33分、中音質モード（96Kbps）で約44分、低音質モード（64Kbps）で約66分です。
なお、コンピュータからのダウンロードのしかたについては、付属のCD-ROMに収録されている説明をご覧ください。

基本的な操作



表示の見方

●曲情報／キャラクター
パソコンから転送された曲情報（曲名、歌手名、アルバム名）およびキャラクターを表示します。
※曲情報は曲名、歌手名、アルバム名の順に、1アルファベット1文字ずつ表示します。
※曲情報が転送されていないときは、キャラクターのみを表示します。
また、一時停止マーク（▮▮）や停止マーク（□）なども表示します。

●トラック番号
現在選ばれている曲の番号を表示します。

●演奏時間
現在選ばれている曲の演奏時間を表示します。
再生直後はその曲の音質レベルを表示します。

他のモードからプレイヤーモードに切り替えたときや時刻モードに戻したとき、プレイヤーモードでのボタン操作（但し、停止/ボリューム操作は除く）のときは、ライトが3秒間点灯します。

プレイヤーモードに切り替えるには

時刻モードのときに▶■ボタンを約2秒間押し続けると、プレイヤーモードに切り替わり、自動的に再生がスタートします。
※MODEボタンを押し続けると、プレイヤーモードに切り替わります。
また、プレイヤーモードから時刻モードに戻すには、停止中にMODEボタンを約2秒間押し続けます。

ボタンの働き

●▶■ボタン
- 押すごとに曲がスタート／ストップします。

●⏭ボタン
- 再生中に押すと、次の曲を再生します。
- 再生中に押し続けると早送りができます。
- 停止中に押すと、次の曲に進みます。

●⏮ボタン
- 再生中に押すと、聞いている曲の先頭から再生します。もう一度押すと、前の曲を再生します。
- 再生中に押し続けると早戻しができます。
- 停止中に押すと、前の曲に戻ります。

●◀ボタン
- 押すごとに音量が大きくなります。

※音量は20段階で調節できます。

●▶ボタン
- 押すごとに音量が小さくなります。

※音量は20段階で調節できます。

●MODEボタン
- 再生のしかた、および音質設定に切り替わります。

※再生のしかたは20ページを、音質設定は23ページをご覧ください。

再生中に時刻を見るときは、MODEボタンを約2秒間押し続けます。
また、プレイヤーモードに戻すには、もう一度MODEボタンを押します。

■ いろいろな再生のしかた

再生の種類には次の６種類があります。

1. 順次再生
   メモリーした順に連続再生します。

2. シャッフル再生（SHUFFLE 点灯）
   メモリーした曲をランダムに再生します。
   ※シャッフル中は⏮ボタンや⏭ボタンで曲を選ぶときもシャッフルされています。

3. 順次全曲ループ再生（LOOP 点灯）
   全曲を順番に繰り返し再生します。

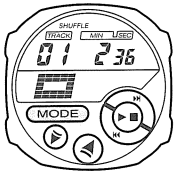
4. シャッフル全曲ループ再生（SHUFFLE LOOP 点灯）
   全曲をランダムに繰り返し再生します。

5. 1 曲ループ再生（1 LOOP 点灯）
   1 曲だけを繰り返し再生します。

6. パートループ再生（P LOOP 点灯）
   1 曲の 1 部分だけを繰り返し再生します。

●再生のしかたを選ぶ

プレイヤーモードに切り替えると順次再生のモードになります。以後、MODEボタンを押すごとに、上記順番に再生モードが切り替わります。
※再生中でもモードを選ぶことができます。



●パートループ再生のしかた

1. 再生する曲を選ぶ

⏭または⏮ボタンを押します。

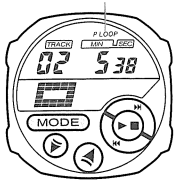
➡⏭ボタンを押すごとに１つずつ進み、⏮ボタンを押すごとに戻ります。



2. パートループ再生に切り替える

MODEボタンを押します。

➡パートループ再生モードになるまでMODEボタンを押します。
※表示窓上部に“P LOOP”が点灯します。



3. 再生する

⏯ボタンを押します。

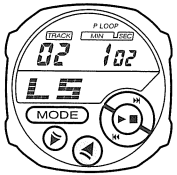
➡曲がスタートします。



4. 先頭を指定する

◀ボタンを押します。

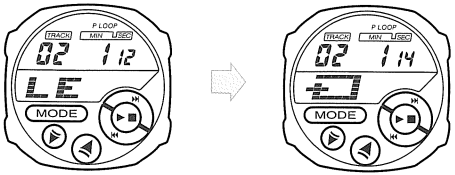
➡繰り返したいパートにきたら、◀ボタンを押します。
※"LS"（Loop Start）と表示します。



5. 終了を指定する

▶ボタンを押します。

➡繰り返したいパートが終わりましたら▶ボタンを押します。
以後、指定したパートを繰り返し再生します。
※"LE"（Loop End）と表示します。



6. 解除する

パートループを解除するには、▶■ボタン以外を押します。

➡再生は続けられます。



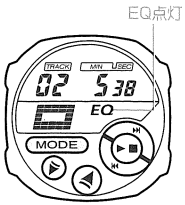
■音質(EQ)設定

音楽に合わせて低音重視(2種類)、フラット、高音重視(2種類)の5段階が選択できます。

1. 音質設定モードに切り替える

MODEボタンを押します。

➡音質設定モードになるまでMODEボタンを押します。
※再生中でも切り替えられます。



2. 再生する

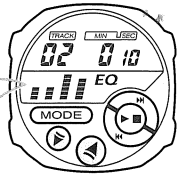
▶■ボタンを押します。

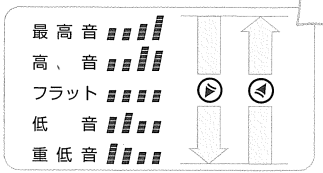


3. 選択する

◀または▶ボタンを押します。

➡◀ボタンを押すごとに高音重視に、▶ボタンを押すごとに低音重視になります。





アラーム・時報の使い方

アラームは1分単位でセットでき、セット時刻になると20秒間の電子音で知らせてくれます。
また、毎正時(00分)に電子音で時報を鳴らすこともできます。
※音楽再生中は、イヤホンからアラーム・時報の電子音が聞こえます。
※アラーム・時報で鳴る電子音の音量調整はできません。

■ アラーム時刻のセット

1. セット状態にする

▶ボタンを押します。

➡「時」が点滅します。▶ボタンを押すごと以下の順にセット箇所が移動します。

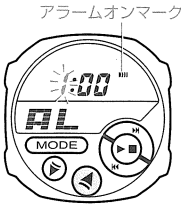
時 → 分 → セット終了



2. 時をセットする

◀ボタンを押します。

➡◀ボタンを押すごとに1つずつ進みます。
※押し続けると早送りができます。
※アラームオンマークが点灯します。
※「時」のセットのとき、午前/午後(P)にご注意ください。
※時刻モードの現在時刻を24時間制表示にしているときは、アラームモードのセット時刻も24時間制表示になります。



3. 分のセットに切り替える

▶ボタンを押します。

➡「分」が点滅します。



アラームモードに切り替えるには

時刻モードのときにMODEボタンを1回押します。
※アラームモードで何もボタン操作をしないと、約1分後時刻モードに戻ります。
※アラームモードで操作後MODEボタンを押すと、直接時刻モードに戻ります。

4. 分をセットする

◀ボタンを押します。

➡◀ボタンを押すごとに1つずつ進みます。
※押し続けると早送りができます。



5. セットを終わる

▶ボタンを押します。

➡点滅が止まります。



※セット状態で表示を点滅させたまま約1分すると、自動的に点滅が止まります。

●鳴っているアラームを止めるには

いずれかのボタンを押します。

●デモアラーム

アラームモードで◀ボタンを押し続けると、押している間アラーム音が聞けます。

■アラーム・時報のオン／オフ

セット状態にする

◀ボタンを押します。

➡押すごとに、以下のようにアラーム・時報のオン／オフが切り替わります。





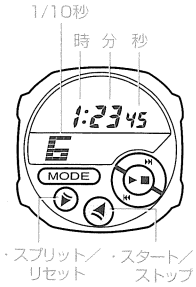
ストップウオッチの使い方

ストップウオッチは1/10秒単位で23時間59分59秒9（24時間計）まで計測でき、以後、自動的に0に戻って計測を続けます。

ストップウオッチモードに切り替えるには
時刻モードのときにMODEボタンを2回押します。
※ストップウオッチモードで操作後MODEボタンを押すと、直接時刻モードに戻ります。

■計測のしかた

- ◀ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
- 計測がストップしているときに▶ボタンを押すと、0時間00分00秒0（リセット表示）になります。
- 計測中に▶ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリットタイム（途中経過時間）計測となります。



●通常の計測

◀ → ◀ → ▶
スタート　ストップ　リセット

積算計測…
ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずに◀ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測をはじめます。

●スプリットタイム計測

◀ → ▶ → ▶ → ◀ → ▶
スタート　スプリット計測　スプリット解除　ストップ　リセット

●1着・2着同時計測

◀ → ▶ → ◀ → ▶ → ▶
スタート　1着ゴール（1着タイム表示）　2着ゴール　2着タイム表示　リセット

計測中にプレイヤーモードに切り替えると、計測はリセットされます。

時刻・カレンダーの合わせ方

■ 秒の合わせ方～30秒以内の遅れ／進みの修正～

月に1度くらいこの「秒合わせ」を行なっていただくと、時計はいつも正確です。

1. 時刻セットモードに切り替える

MODEボタンを押します。

➡時刻モードのときにMODEボタンを3回押します。
「秒」が点滅します。



2. 秒を合わせる

時報に合わせて◀ボタンを押します。

➡秒が00～29秒のときは切り捨てられ、30～59秒のときは1分繰り上がって「00秒」になります。
※時報は「時報サービス　電話117番」が便利です。



3. セットを終わる

MODEボタンを押します。

➡点滅が止まります。



※秒合わせで表示を点滅させたまま約1分すると、自動的に点滅が止まります。

■ 時刻・カレンダーの合わせ方

電池切れなどで時刻・カレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

1. 時刻セットモードに切り替える

MODEボタンを押します。

➡時刻モードのときにMODEボタンを3回押します。
「秒」が点滅します。



2. セット箇所を切り替える

▶ボタンを押します。

➡押すごとに点滅箇所が以下の順に移動します。
※点滅箇所がセット可能です。

秒 → 時 → 分 → 年 → 月 → 日



3. セットする

◀ボタンを押します。

➡押すごとに1つずつ進みます。
※押し続けると早送りができます。
※時のセットのとき、午前／午後（P）および24時間制表示にご注意ください。
※年は西暦で2000～2039年までセットできます。
※曜日は年月日を合わせると自動的にセットできます。



▶ボタンを押してセットしたい箇所を点滅させ、◀ボタンを押してセットする操作を繰り返します。

4. セットを終わる

MODEボタンを押します。

➡ 点滅が止まります。



※セット状態で表示を点滅させたまま約１分すると、自動的に点滅が止まります。

★カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

12/24時間制表示切り替え

時刻モードで◀ボタンを押すごとに、12時間制表示と24時間制表示が切り替わります。



サマータイム切り替え

時刻モードで▶ボタンを押し続けるとサマータイムになります。
サマータイムのときに▶ボタンを押し続けると、もとの時刻に戻ります。

※サマータイムとは(Daylight Saving Time)とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。
サマータイムの採用時期は各都市により異なりますし、採用していない都市もありますのでご注意ください。



製品仕様

時計機能

水晶発振周波数	32,768Hz
精度	平均月差±15秒以内
基本機能	年・月・日・曜日・時・分・秒・午前／午後(P)／24時間制表示 フルオートカレンダー（2000～2039年）
アラーム機能	セット単位＝分　電子音＝20秒間
時報機能	毎正時に２回電子音で報時
ストップウオッチ機能	計測単位＝1/10秒 計測範囲＝23時間59分59秒9（24時間計） 通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測
その他	自動復帰機能、デモアラーム、12/24時間制表示切り替え、 LEDライト

プレイヤー機能

記憶容量	32MB
録音時間	高音質モード＝約33分 中音質モード＝約44分 低音質モード＝約66分
歪みレート	0.1%以上
S／N比	70dB以下
出力	4.0mW×2
コネクター	φ3.5ステレオイヤホンコネクター WAPインターフェイスコネクター

共通機能

主要回路素子	音叉型高性能水晶振動子、ワンチップCMOS-LSI
使用電池	充電式リチウムイオン電池（電池別途販売）
充電時間	常温で約４時間（フル充電）
電池持続時間	連続音楽再生…常温で約４時間 時刻表示のみ…常温で約２カ月

付属品

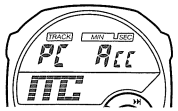
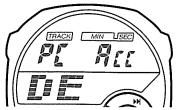
インターフェイス、ACアダプター、ステレオイヤホン、イヤホンアタッチメント、USBケーブル、CD-ROM（リンクソフト）

こんなときには

トラブルシューティング

現象	原因	対処
ボタンを押しても動かない	異常動作をしているか電池が消耗している	リセットボタンを押すか充電してください
液晶表示がおかしい	異常動作をしているか電池が消耗している	リセットボタンを押すか充電してください
再生できないまたは音が聞こえない	MP3 データがメモリーされていない	データをダウンロードしてください
	ステレオイヤホンが正しく接続されていない	確認して、正しく接続してください
	音量が小さすぎる	音量を少しずつ大きくしていってください
	電池が消耗している	充電してください
雑音が入る	テレビなどの強い磁気を発する電気製品等の近くで使用していませんか	離れて聞いてください
	携帯電話などの電波を発する機器の近くで使用していませんか	電波を発する物の使用をやめるか離してください
MP3 データのダウンロードができない	USB ケーブルが確実に接続されていない	確認して、確実に接続してください
充電ができない	AC アダプターが WAP インターフェイスと正しく接続されていますか	確認して、正しく接続してください
	ACアダプターがコンセントからはずれていませんか	確実に差し込んでください
充電をしても再生時間が短い	充電式電池が寿命か故障しています	お買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションご相談ください

エラーメッセージ

表示	原因	対処
	MMC が認識されていない状態で再生をした	お買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションにご相談ください
	MP3 データが入っていない状態で再生をした	リンクソフトで MP3 データを転送してください
 または 	MP3 データが壊れているか、フォーマットが正しくない状態で再生した	リンクソフトでフォーマットし直してから、MP3 データを転送してください
	1 曲の演奏時間が 99 分 99 秒を超えています	1 曲の演奏時間が 99 分 99 秒以内の曲を転送してください

ご使用上の注意

■時計自体の防水性

（イヤホンアタッチメントを取り付けたときは、防水性がありません）

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。
●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
●防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。
●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
●防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）
●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

■温度

●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。
●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショック

●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因となります。

■磁気

●時計機能には影響ありません。
●静電気または磁性物質などの接触により、マルチメディアカードに入力された内容が消えることがあります。

■薬品類

●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと、数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■定期的な点検

1年に1度は、ACアダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないかなどを点検してください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。
●時計やインターフェイスの端子部分は、綿棒などで定期的に拭いてください。

■お手入れを怠ると

●「サビ」
- ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
  ※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」
- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」
- 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
- 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

- 故障、修理、電池消耗等に起因するデータの消失により生じた損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
  特に、重要なデータは複数の記憶装置に保存することをおすすめします。
- 本書および本機使用により生じた損害および逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。